

「サステナビリティ・レポート」発刊！ 情報開示が必須化するサステナビリティ、先進企業の事例をAIが分析

昨今、サステナビリティにおける企業の取り組みが、企業価値向上と外部評価に直結するといっても過言ではない機運が醸成されています。国内では、サステナビリティ開示情報のフレームワーク化（金融庁主導による有価証券報告書の規格化）や、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）のエレメント（要素）を包括した開示要請の枠組みが整いつつあるうえ、IFRS（国際財務報告基準）とその傘下に設置されたISSB（国際サステナビリティ基5準審議会）の財務面を含んだサステナビリティ標準化に代表されるように、世界的な枠組みでの統合化の動きが強まっています。

このように、サステナビリティをめぐる一連の取り組みは避けて通れない急務かつ最優先の課題となっています。しかし、サステナビリティ関連の情報については、個別企業ごと、かつ網羅的に整理された情報が圧倒的に不足しており、情報の集約化が困難というのが実態です。企業個々の立ち位置として、一体どこからスタートして行けばよいのか、ヒントとなるような指針が見当たらないという課題が見受けられます。

産業タイムズ社では、情報開示が必須化するサステナビリティ情報について、注目業界や先進企業の事例をAIで分析しながら、非財務情報開示のヒントを提供する調査レポート「サステナビリティ・レポート」を発刊いたします。

個別企業ごとに、統合報告書と有価証券報告書をベースに可視化されたサステナビリティ情報の提供を第一義とし、現在の立ち位置を独自の評価軸に基づいたダッシュボードによる見やすい形式に整理したうえで、どのような経路でそれが企業価値に結びついていくか、そのヒントをお示しします。具体的には、注目度の高い業界を毎回ピックアップし、サステナビリティに関する最新動向をまとめつつ、各業界を代表する企業7社程度のダッシュボード（個票）を掲載予定です。サステナビリティの羅針盤となる、いわば海洋図をお示ししたいという使命感を持ちながら、皆様のサステナビリティ戦略に欠かせないレポートづくりに邁進いたしますので、ぜひご購入を検討いただければ幸甚に存じます。

1,発刊日:隔月・最終木曜日（第1号は2025年1月31日を予定）

2,形式:PDFファイル20~25ページ程度

（各業界のサステナビリティ戦略の動向（または企業インタビュー）をはじめ、業界ごとのサマライズ、代表企業の個票編（7社程度）、PDFファイルを他人などに転用できない追跡ソフト付き）

※調査する業界 第1回「電子デバイス・半導体・部品、IT」、第2回「製造装置・FA」、第3回「材料・素材」、第4回「小売・食品」、第5回「不動産・住設・デベロッパー」、第6回「医薬品」

3,購読料:1回33,000円（税込）、1年:198,000円（税込）、

4,申込方法:下記の申込みフォームに必要事項をご入力ください。

5.サンプルご希望の方は、会社名、部署名、役職、お名前、メールアドレス、電話番号を記入の上、件名「サンプル希望」として下記までメールをお送りください。

pd@sangyo-times.co.jp / 担当:事業開発部 甕（もたい）

お申込みはこちらから

※上記レポートのほか、AIツールを活用したロジックモデルによるインパクト評価分析と、それに基づく他社比較や改善の提案などを軸とした、個別のコンサルティングも承ります。